

市交際費の支出状況

平成30年11月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	2	10,000
	累計	48	170,850
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	2	33,600
	累計	34	221,200
賛助	今月分	0	0
	累計	3	16,452
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	1,602
	累計	11	89,986
会費	今月分	4	19,000
	累計	30	136,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合計	今月分	9	64,202
	累計	128	642,188

◎くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

連載

「伝えたいこと」

3歳になる孫娘は、台所に立つことが大好きでよく手伝いをしてくれま。先日も、サヤエンドウの筋を取っていたら「いもづるみたいね」と言っていました。サヤエンドウの筋から、いもづるを連想する、子どものしなやかな発想に驚きながら、改めて一日一日の出来事が、こうして見事に記憶されていくのだなと実感しました。

いいことも、悪いことも、全部「あたりまえ」として刷り込まれ、そして、その子の人格が形成されていくのです。そのお手本となるのは、先に生まれた人たちの言葉だったり、行動だったり、考え方だったりします。日常生活の中で、

tomoni ikiru

まるで空気を吸うように刷り込まれていく「あたりまえ」には、思い込みや偏見、そして、無自覚な差別意識もあります。こうしたことに気づく力をつけるのが、人権・同和教育です。特に、同和問題と、真に向き合っていくと、人として大切なことに気づかされていくのです。人の悩みや苦しみ、痛みや悲しみにも出会いますが、そればかりではありません。その中にも、人を愛する心や敬う心、そして、言葉にならない、人の心の奥底にあるものを感じ取るうとする力が養われていきます。

私は、同和問題と向き合う中で「人の痛みのわかる人になれ」ということを学びました。子や孫に、そのことを行動で示し伝えていきたいと思っています。

社会教育指導員 野中久美子

Message for citizen



市長』コラム



新たな年の始まり。新春祝賀に添え、まずは報告からです。

新たにめざすものに、市民の心の栄養にもなる、文教の里にふさわしい図書館があります。

新たな図書館の基本設計予算案（債務負担行為）を十二月議会に提案しましたが、1人の差で可決に至らずでした（関連予算ゼロの修正案に賛成8人）。

予算委員会では「慎重な対応をとる」という議会申し入れの扱いは？」の意見が出ましたが、申し入れを受け、図書館を所管する教育委員会は月日をかけ、視察等も行い、専門的情報の研究やさまざまな検討を重ねました。既にこのことは議会に説明し、再検討の上での提案です。改めて担当から経過を説明しました。財政が心配の意見がありますが、市の中期財政計画に図書館整備や公民館整備等を明記し、市の財政負担が軽くて整備可能な財源確保や財政運営で大丈夫

新たな図書館整備に向けて

市長 横尾 俊彦

とも説明してきました。各施設も財政計画で調整して推進を図ります。運営面も経費節減を旨として堅実財政運営に努め、課題解決することとしています。

今の時代、素敵な図書館の存在は、地域文化や人々の教養涵養に必要です。図書館は、定住促進や子育て支援、生涯学習にも重要であり、学び・癒し・交流の拠点です。図書館を核に新しいコミュニティが各地で生まれています。文化芸術ミニ展示や読み聞かせ、学習室、移動図書サービスなども可能になり、もつと笑顔が広がるはず。親子あるいは祖父母と孫で、時には友達と、本とのふれあいを共有し「この本はおもしろい」「ためになった」「今度はどんな発見かな」と語りながら家路に就く。そんな日常風景は心に沁みる記憶と糧になるはず。

ご意見を頂ければ幸いです。今年もよろしく願います。